



お母さんへ

お母さんがコロナウイルスにかかった時はとても心配しました。何日もお母さんの顔を見ていなかったから、お母さんの顔をわすれてしまうんじゃないかと少し不安になりました。ねる時にこのまま元気にならなかつたらどうしようと考えるとこわくなりました。

お母さんが料理をイ作れないので、卓月ごはんはバナナとゼリーで、お昼ごはんはカップラーメンの日がつつぎました。早くお母さんの作った目玉焼きとおみそしるがある卓月ごはんが食べたいなと思いました。ある日の夕食はお父さんといっしょにカレーを作りました。お父さんが切つて、ぼくは肉や野菜をいためたただけだったけど、大変でした。こんなに大変なことを毎日仕事から帰って一人で作っていたんだなと思うとすごいなと思いました。かわいさたくさん物がたまっていたので、お父さんとぼくでたたみました。今までぼくはほとんど手伝ったことがありませんでした。いつも夕食の後お母さんがたたんでいました。たたみながら今まで悪かったなと反省しました。

今は元通りのお母さんになって、本当に安心しました。やっぱり家族が元気なのが一番幸せだなと思いました。お母さん、いつも家族のために家のことをしてくれてありがとう。これからは自分から「手伝うよ」と言ってお母さん、家族のためにがんばりたいです。

俊太より

